

ペットの同行避難はなぜ難しい？



進まない!!
問題山積

人とペットを別棟に

受け入れ・管理はペット管理リーダー
アレルギー・匂い・なき声など 問題の解決に

これだけの問題点を乗り越える
道筋が見えない

「動物より人間」という意見
人と動物を明確に分けるメリット

指定避難所に動物はダメ
ペット防災訓練が出来ない

場所の確保
人の避難所だって足りない

私たちが1歩を踏出せば ⇒ 自助・共助
ペット避難場所の確保や同伴避難場所 ⇒ 公助
受け入れ準備は整えました！あとは場所の確保です！

実行するには

このような難関が……

難関ー1

「動物より人間」という意見
人と動物を明確に分けるメリット



災害時はすべての避難者
を受け入れます

難関ー2

指定避難所に動物はダメ
ペット防災訓練が出来ない



訓練が出来なければ
防災とは言えない

今できることを考え行動することで
今後すべきことが見えてくる

ペット避難所管理リーダー育成に必要な3ステップ・パッケージ

1段階

- ・実施責任者の決定⇒自主防災会/ペット愛好家から
- ・3～5名集まればOK（リーダーが習得方法と手順を説明に）

2段階

- ・1/2級のテキスト内容の習得(マザーアースHP～ダウンロード)
- ・ぬいぐるみ・ケージ・入所書類などで実施訓練(2時間)
- ・全てペット管理リーダーが補助に入ります(全5時間)

3段階

- ・防災訓練での実施を主催団体から承認を得る
- ・訓練実施に必要な物品はマザーアースが貸出ます



「ぬいぐるみ」
のメリットをいかした
③ステップパッケージ

ペット避難所入所手順例2025

官民連帯による避難所運営の質の向上事業(内閣府防災)



受け入れ前の
ミーティング



飼い主情報受付 ぬいぐるみを選ぶ



ぬいぐるみを使うことで..

1級管理リーダーの実施訓練
が会議室でも可能になり、育
成メソッドを習得したあとの実
施訓練に容易につながられる
実効性が出てきたと考えられ
ます



重要ポジション⇒ 現状問診後全ての情報
を入れたタグを作成⇒リーダーがケージを選定



ぬいぐるみと 奥の2時受付へ



リーダーがケージを選択し、ペットと飼
い主の情報タグをケージに装着
飼い主にはケージナンバータグを交付

